



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

自然と調和する地域力

加納 正俊

(かのう まさとし)

国立大学法人 東京工業大学
学術国政情報センター 大西研究室 研究員



○ 登録者情報

所在地

東京都目黒区

略歴

1978/1980年: 東京工業大学工学部(学士)/理工学研究科(修士)
1994年: マサチューセッツ工科大学経営学大学院(修士)/技術政策大学院(修士)
2008年: ニューブランズウィック大学大学教育法(ディプロマ)
1980年-2021年: エンジニアリング会社日揮入社後プラント自動化・安全装置の設計を経て環境監理などに携わる
2021年4月-: 東京工業大学の研究員として局所気象予測技術とその社会応用にかかわる研究プロジェクトに従事

[登録歴]

- ・気象防災アドバイザー(2021年度 国土交通大臣委嘱)
- ・気象予報士(2012年:No.8502)
- ・JICA環境専門家: ミャンマー派遣(2012年: 60日間)
- ・JICAシニアボランティア: 王立ブータン大学派遣(2006-2008年)

著書・論文等

“一技術者の体験事例: 王立ブータン大学の教育現場にて”, 計測と制御、第50巻、第4号、2011年

“International Multi-Company Collaborative Engineering: A Study of Japanese Engineering and Construction Firms”, Productivity From Information Technology “PROFIT” Research Initiative, Sloan School of Management, Massachusetts Institute of Technology, 1994

“On the Automatic Start-up/Shutdown System for a Combined Cycle with Two Different Gas Turbines”, Proceedings of IFAC Symposium on Control of Power Plants and Power Systems, 9-11 March 1992

“A Combustion Air Changeover Control for Heat Recovery Boilers”, Proceedings of IFAC Symposium on Control of Power Plants and Power Systems, 9-11 March 1992

○ 自然と調和する地域力

取組の内容

コロナ禍の影響が落ち着いた後、観光・コンベンション等の国際イベントにおけるインバウンドの地域経済に対する重要性は変わらず、選ばれる訪問先には地域の魅力創出がますます重要になると考えています。

地域における魅力創出のため、

- 1) まず、風水害、土砂災害などの自然災害に対する、外国人、障害者を含む来訪者のレジリエンス、すなわち設備等のハードと、情報提供と避難行動援助等のソフトとによる自然災害を防ぐ仕組みの構築、
- 2) 外国人、障害者を含む来訪者が快適に観光・イベントを楽しめるよう、例えば熱中症等予防のため特定な場所ピンポイントの気温、湿度等の予測情報提供サービスなど、局所的な気象情報を活用し自然と調和して過ごせる地域社会システムの仕組み作り、
- 3) さらに、地域気象と予測による「自然を生かした地域観光・イベント開催」等の開発、

といったことに取り組んでいくことが、この目的に資すると考えます。
現在、東京工業大学において局所気象予測技術とその社会応用について研究しており、このノウハウを生かして、持続可能な安全快適な環境づくり、さらに観光資源作り等にも貢献できるものと考えます。

具体例としては、外国人居住者・障害者の方々との地域気象防災ワークショップの開催などを通じて、

- 1) 地域外国人住民や外国人を含む来訪者が安心して過ごせる防災サービスの提供
地域あるいはそれより小さい区域のピンポイント気象(微気象)予測技術に携わる研究者、市町村職員及び住民によるフォーラム開催などを通じて、例えば…
- 2) 熱中症対策として街の緑化計画の最適化、
- 3) 気象情報を活用した屋外スポーツや花火等のイベント開催計画・運用の仕組みづくり
- 4) 雲海見学ツアーのような地域気象の特徴を観光資源として生かすイベントの企画立案など、地域の自然特性をその地域の魅力として創り出していくことができるのではないかと考えます

実績

- ・現在: 気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)の人材育成ワーキンググループにて活動中
- ・2021年12月 川崎市防災関連職員向け気象防災研修会講師
- ・2021年 Tokyo2020オリンピック・パラリンピックにおけるドーピングコントロール・ボランティア活動(22日間@15競技会場)
- ・2019年 ラグビーワールドカップにおけるメディアサポート・ボランティア活動(横浜国際競技場)
- ・2015年-2019年 中高年ホームファーマーとして週末愛川町で野菜・ハーブ作り(神奈川県)
- ・1996年-2019年 野外活動施設及び子ども植物園で青少年向け野外活動プログラム(2019年「もしもの体験キャンプ」を含む)や教室運営ボランティア活動(横浜市)
- ・2018-2019年 自治会理事として自治会会員向けに防災訓練など防災啓蒙活動の企画運営
- ・2002年 日韓ワールドカップ 国際メディアセンターの横浜市PRブースにて海外からの報道関係者に横浜市の魅力を伝えるボランティア活動
- ・1998年 長野オリンピック・パラリンピックにおけるドーピングコントロール・ボランティア活動(3週間@志賀高原)

工夫した点や苦労した点

スポーツ・キャンプ・防災などの活動を通して、様々な年代の人達と自然とのかかわりを知るとともに、メディア等によるイベントや地域のプロモーションを体験し、自然とともに生きていく新時代の暮らし方をいろいろな地域で学ばせていただいています。



もしもの体験キャンプ防災袋に何入れる? (横浜市子ども自然公園野外活動センターHPより)



愛川町ホームファーマー農園にて家族自然体験会 2018年

ひとことPR

気象情報技術を利用した、新時代の自然と調和する暮らし

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	○ 地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
○ 地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

都市街区”微気象”リアルタイム予測	https://www.turb.gsic.titech.ac.jp/jp/research/Society5.0/Society5.html
公園のヒートアイランド対策等	https://www.turb.gsic.titech.ac.jp/jp/research/MSSG/MSSG.html
気象防災ネットワーク推進ネットワーク	https://www.jma.go.jp/jma/kishou/intro/gyomu/wxad/mdpapn.html

連絡先

メールアドレス	mkano [アットマーク] alum.mit.edu		
---------	-----------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。